

山科には、川が多いので水害が起きやすいのではないかと考え、このテーマについて調べました。

水害の種類

- ・洪水
→台風や豪雨によって河川の水かさが通常よりも増した状態のことです。
- ・外水氾濫
→豪雨などによりかさが増した河川が堤防から溢れたり、堤防が決壊したりすることで発生する洪水です。
- ・内水氾濫
→排水路や下水道が雨水を流しきれなくなり、街の中に溢れ出した雨水が溢れて浸水することです。
- ・高潮
→台風などの影響により、気圧が低下し海面が吸い上げられたり、強風により海面が吹き寄せられるなどして、海面の水位自体が普段よりも上昇することです。

山科地域における過去の水害

2013年9月16日に台風18号の豪雨により、京阪京津線トンネル側からの浸水のため、地下3階部分が冠水し地下鉄東西線が営業停止となりました。山科川の支川である旧安祥寺川、安祥寺川、四宮川で溢水氾濫による家屋浸水被害が発生しました。



水害対策

家庭でできる簡単な水害対策をご紹介します。

- ・水のう
 - 1、ゴミ袋を2枚重ねる
 - 2、ゴミ袋の中に水を入れる
 - 3、ゴミ袋の中の空気を押し出す
 - 4、ゴミ袋の口を縛る

水のうは、玄関やトイレで活用できます。
(水の流れ込みやトイレの逆流を軽減できます)



- ・雨水ますの清掃・点検

「雨水ます」や「側溝」に落葉やゴミなどがあると、雨水が下水道管に流れず敷地や道路が冠水する恐れがあるため、定期的に「雨水ます」の点検や清掃を行いましょう。



まとめ

2013年の台風18号により山科は浸水被害に遭いました。山科でも水害が発生した様に、台風や豪雨による水害は身近に存在します。被害をできるだけ少なくするために危険な箇所の確認や事前の準備を心がけましょう。